

2024.04.25

Japan IT Week【春】、東京ビッグサイトで開催 12専門展、900社出展



Japan IT Week【春】が開幕し、初日から多くの人出でにぎわいをみせた=24日、東京ビッグサイト（東京都江東区）

構成する12専門展

ソフトウェア&アプリ開発展
営業DX EXPO
組込み/エッジコンピューティング展
IT運用管理&データセンターEXPO
情報セキュリティEXPO
デジタルマーケティングEXPO
クラウド業務改革EXPO
IoTソリューション展
次世代EC&店舗EXPO
AI・業務自動化展
メタバース活用EXPO
データドリブン経営EXPO

データドリブン経営を新設

国内最大規模のIT（情報技術）の展示会「Japan IT Week【春】」（主催＝RX Japan主催）が24日、東京都江東区の東京ビッグサイトで開幕した。急速に普及が進む生成AI（人工知能）やサイバーセキュリティなどをテーマにした12のIT専門展で構成され、昨年より100社以上多い約900社が最新の技術やサービスを展示・実演している。今年は、データを会社経営に活用する「データドリブン経営」に着目した専門展が新たに加わり、初日から多くの来場者でにぎわっている。会期は26日まで。

会場では、生成AIをはじめ、プログラミングを必要としないノーコード開発やインターネットとつながるIoT機器など、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する計2160の製品やサービスが提案されている。

セキュリティシステムを手掛けるトレンドマイクロは5年ぶりの出展。ネットワーク上の疑わしい動きは数億件検出されるが、この中からサイバー攻撃など危険性の高い要因を選別するアラートトリアージと、生成AIがサポートする機能を強みに訴求する。

日立ソリューションズ・クリエイトは、セキュリティ対策に悩む企業の困り事に応じて対策を提案する「協創型」のサービスを展開。サイバー攻撃を受けた場合に備え、防災訓練のように対応のトレーニングに力を入れているのが特徴だ。個人向けと組織向けのコースを用意している。



日立ソリューションズ・クリエイトはセキュリティ対策として「訓練」に力を入れている

半導体や電子部品を扱ってきた兼松フューチャーテックソリューションズは、AI画像認証による不良判定などソリューション展開を強化している。商社出身の利点を生かし、スマート工場などの生産性向上に向けたサービスを幅広く取りそろえている。

エレクトロニクス商社の明光電子は「においを可視化」するニオイセンサーなど多数のソリューションを展示。同センサーは異臭検知、工場内の油の変質や油漏れの検知など工業用途の引き合いが多く、今春、量産体制が整った。

システム構築などを展開するトーテックアメニティは、顧客企業の課題改善に向けたITの第三者検証サービスを提供している。単なるコンサルティングにとどまらず、人員面も含めてサポートする。

ビジネスチャットを手掛けるL is Bは、スマートフォン一つで動画の撮影から簡単な編集、クラウド上への投稿、投稿された動画再生まで一括で行える「ナレッジ動画」を訴求している。

RPAテクノロジーズは、転記や計算作業などパソコン操作を自動化するソフトウェアロボット「BizRobo！」を紹介。官公庁をはじめ、多業種の生産性向上を支援する。

今回はベトナムやパキスタン、バングラデシュなど海外企業も多数参加している。ベトナムに拠点を置くフジネットジャパンのファム・コック・ヴィ社長は「デジタル人材が不足する日本企業向けのオフショア開発で商機が拡大している」と話した。

※本記事は、掲載元の許諾を得て掲載しております。